

★★★ <第33回知的財産翻訳検定試験【第5回中文和訳】> ★★★
《中国語》

【問1】

【書類名】特許請求の範囲

【請求項1】

ターゲットを含む被検出画像を取得することと、
事前にトレーニングされた第1ニューラルネットワークを利用し前記被検出画像の第1特徴情報を取得し、事前にトレーニングされた第2ニューラルネットワークを利用し前記被検出画像の第2特徴情報を取得することと、
前記第1特徴情報と第2特徴情報とを組み合わせ、組み合わせ特徴情報を取得することと、を含み、
前記第2ニューラルネットワークは、
入力された前記被検出画像に基づき前記第2特徴情報を取得する特徴入力層と、
前記第1特徴情報と前記第2特徴情報とを組み合わせ、前記組み合わせ特徴情報を取得する第1特徴組み合わせ層と、
前記組み合わせ特徴情報に基づき、ターゲット検出結果を取得するターゲット検出層と、を含む
ターゲット検出方法。

【請求項2】

前記第1ニューラルネットワークと、前記第2ニューラルネットワークとをトレーニングすること、
をさらに含む請求項1に記載のターゲット検出方法。

【問2】

【背景技術】

人々の生活水準の向上に伴い、健康意識が徐々に消費者の意識の中に浸透し、それにつれて、衣食住のあらゆる生活面においてより「健康と安全」が重視されるようになってきた。周知のように、体の新陳代謝において汗をかくことは非常に必要であり、人の汗には一定の代謝廃棄物が含まれているため、「出汗」にはある程度の「解毒」効果がある。しかし、汗の中の無機物質が大量に蓄積すると、肌のpH値が変化し、肌にある程度のダメージを与えてしまう。

現在、繊維製品に抗菌性を付与する方法として、主に後仕上げ法が使用されており、抗菌性繊維の製造に比べ工程がより簡単で便利である。繊維製品に使

用される抗菌剤は多数あり、その中でもハラミン抗菌剤は、ハロゲンを抗菌要素として、高効率の殺菌効果を達成している。そして化学構造の中のN-HとN-X結合の間の転換によって、「再生可能」な独特の抗菌性を実現することができ、これにより、ほとんどの抗菌剤仕上げの織物の抗菌性が使用時間の増加とともに徐々に消えてしまうという欠点を克服した。

【問3】

【発明を実施するための形態】

図1に示すように、本発明はシリンダー蓋加工用バリ取り装置を提供し、当該シリンダー蓋加工用バリ取り装置は、ベース1、ねじ棒2、固定座3、手動伸縮ロッド4、第1回転モータ5、第1かさ歯車セット6、第2回転モータ7、第2かさ歯車セット8、連結ロッド9、連結板10、回転盤11、剛毛ブラシ12、作業台13、シリンダー蓋本体14、排出口15を含み、そのうち、ベース1の内側の底部には固定ロッドを介して作業台13が固定設置され、作業台13の上にシリンダー蓋本体14が係合連結されている。

動作原理：当該シリンダー蓋加工用バリ取り装置を使用する際には、まず、加工されるシリンダー蓋本体14を作業台13の上に係合載置し、第1回転モータ5をオンにし、第1かさ歯車セット6を介して手動伸縮ロッド4を駆動して左右に位置を移動させる。

第2回転モータ7をオンにし、第2かさ歯車セット8を介して下方の回転盤11を駆動して回転運動させ、回転盤11の下方の剛毛ブラシ12がシリンダー蓋本体14に対して左右移動しながら加工を施し、シリンダー蓋本体14に対しより全面的にバリ取りを行う。